だって、そのとおり言ったって 信じっこないじゃん。

― ある教会学校の小学生の言葉

ヨハネによる福音書 6 章 60～71 節

「主イエスを信じる：どんなイエスを？」

シャガール

弟子たちの多くの者はこれを聞いて言った。
「実にひどい話だ。だれが、こんな話を聞いていられようか」(60)

＊ひどい（σκληρός）：
元々、堅い木株の有り様を、
しかも そこに節がたくさん集まってゴチゴチと堅くなっている様を意味。
― そんなの御免だね。

このために、弟子たちの多くが離れ去り、もはや イエスと共に歩まなくなった。(66)

パウロにとってのイエスの「十字架」と「その十字架についての言葉」とは、さしあたっては「愚かさ」であり、「躓(つまず)き」であり、「弱さ」以外のものではありませんでした。しかし 逆説的には、それこそが真(しん)の「賢さ」であり、「救い」であり、「強さ」なのだ、とパウロは言うのです。

青野 太潮
あおの たしお
1942年～
西南学院大学神学部名誉教授。
新約聖書学の専門家として、著書多数。
パウロにおける「十字架の神学」を論じて、とりわけ著名。

あなたがたはこのことにつまずくのか。(61)

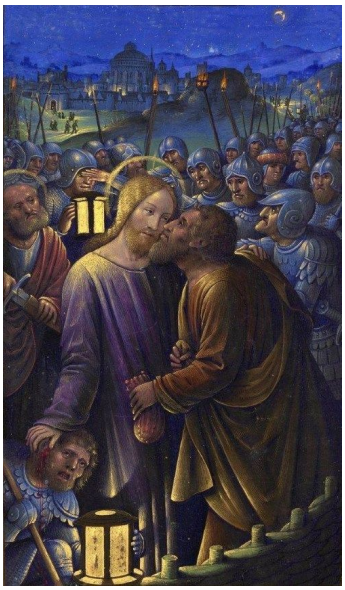
それでは、人の子がもといた所に上(のぼ)るのを見るならば・・・。(62)

父よ、わたしの霊を御手(みて)にゆだねます。(ルカ 23：46)

レイモンド・ベイリー
1938～2021年
米国南部バプテストのサザンバプテスト神学校で 長年、説教学を担当。
全米キリスト教説教センター設立。
哲学と歴史学にも通じ、一人芝居の独白説教等、その創造的試みは有名。

俺のほうが先生より、神の御旨(みむね)をもっとよく知ってるんだ。俺のほうが知ってる。先生よりもっとよく知ってる。

―イスカリオテのシモンの子 ユダの独白として



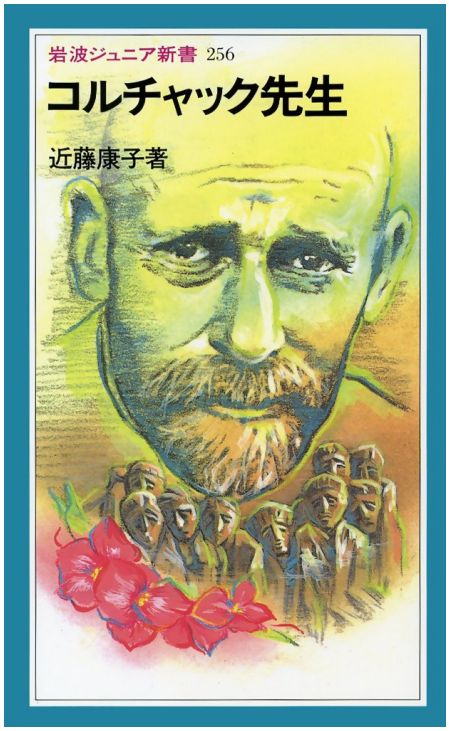
アンヌの時祷書より

命を与えるのは〝霊〟である。肉は何の役にも立たない。
わたしがあなたがたに話した言葉は霊であり、命である。(63)

主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。
あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。
あなたこそ 神の聖者(せいじゃ)であると、わたしたちは信じ、また知っています。(68～69)

私は子どもたちの父親なのです。私だけがどうして・・・。

ヤヌシュ・コルチャック
1878～1942年
本名 ヘンルィク・ゴールドシュミット。
ユダヤ系ポーランド人。
小児科医、児童文学家、教育者として生きる。
ナチスドイツの迫害下、強制収容所のガス室で殺害された。



主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗ったのだから・・・。
(ヨハネ 13：14)

わたしの羊を飼いなさい。
(ペトロに向かって。ヨハネ 21：15～19)